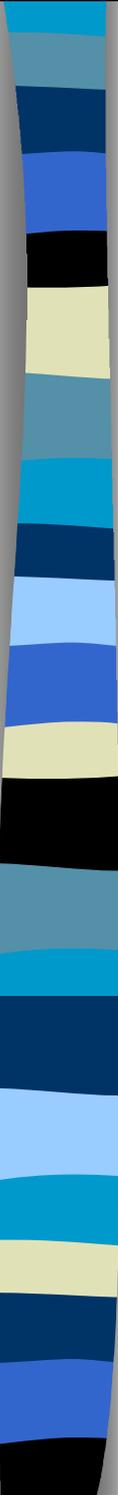


# 会社説明会

2005.12.9



株式会社 長大



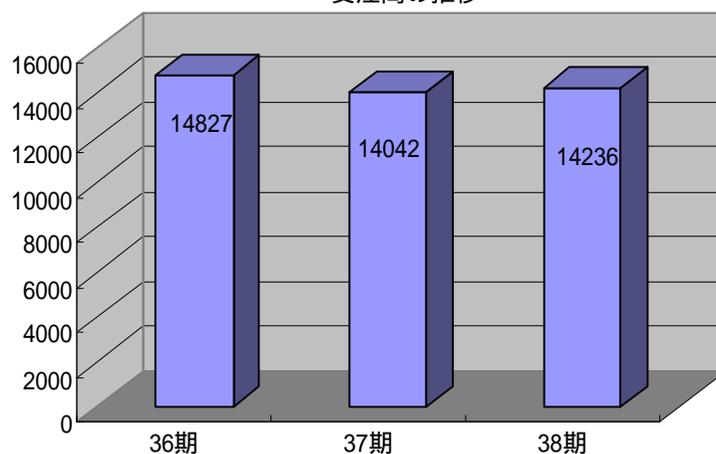
# 1. 最近の営業成果

- (1) 最新の業績 (連結)
- (2) 今後の業績見通し (連結)
- (3) 分野別受注の推移 (単独)
- (4) 顧客別受注の状況 (単独)
- (5) 資産等の概況 (単独)

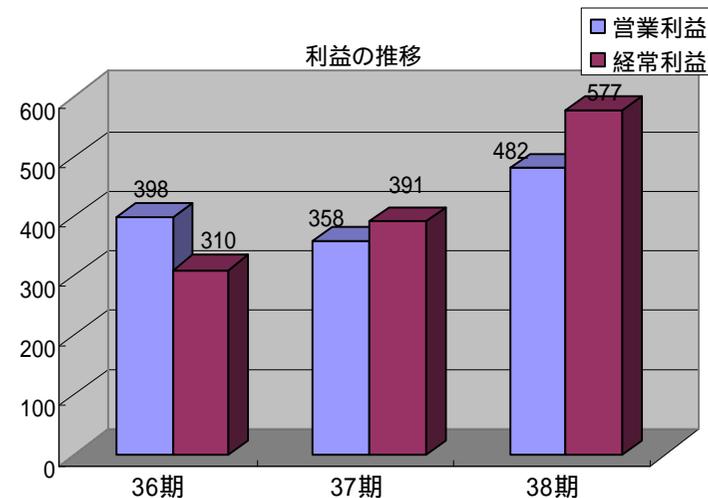
# (1) 最新の業績 (連結)

海外物件が好調であったため、国内の受注高の減少を補った

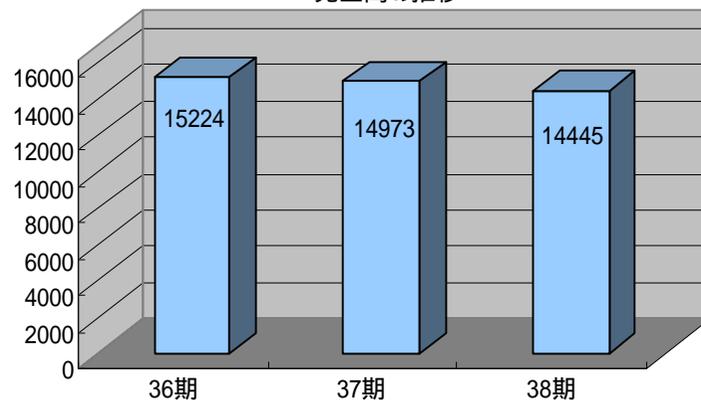
受注高の推移



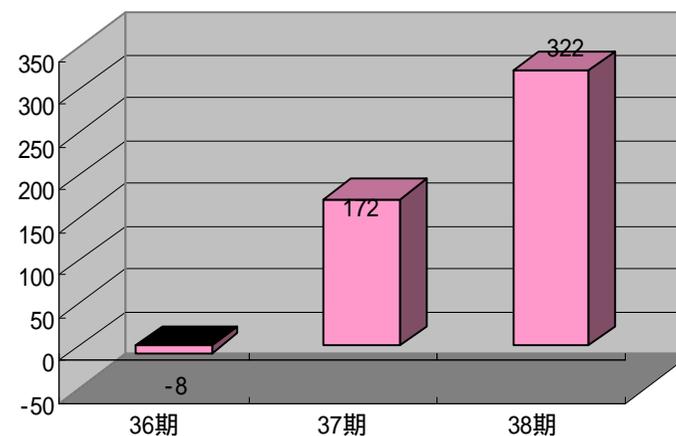
利益の推移



売上高の推移

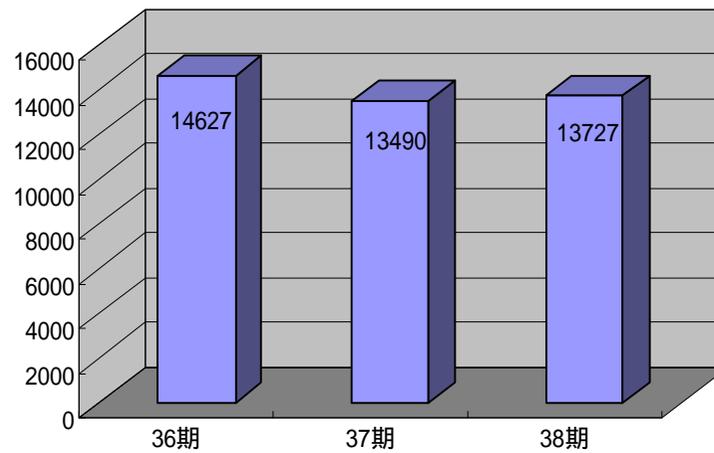


当期純利益の推移

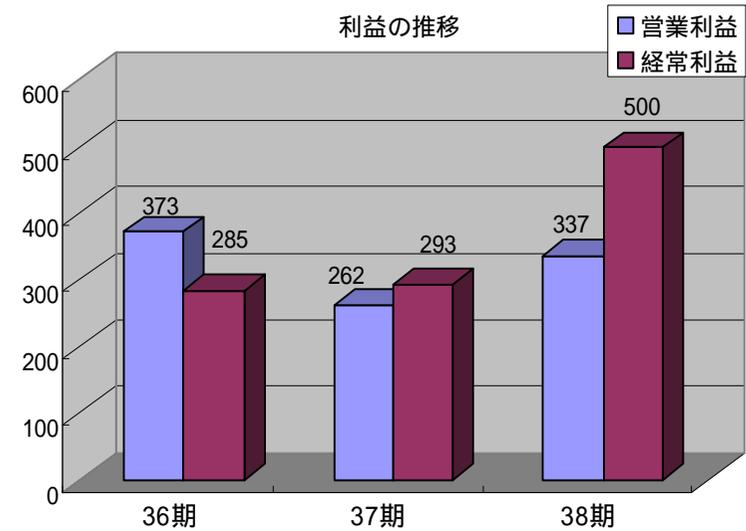


# 最新の業績 (単独)

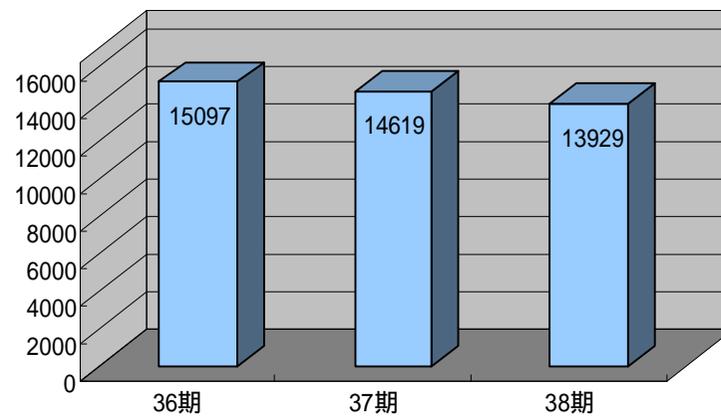
受注高の推移



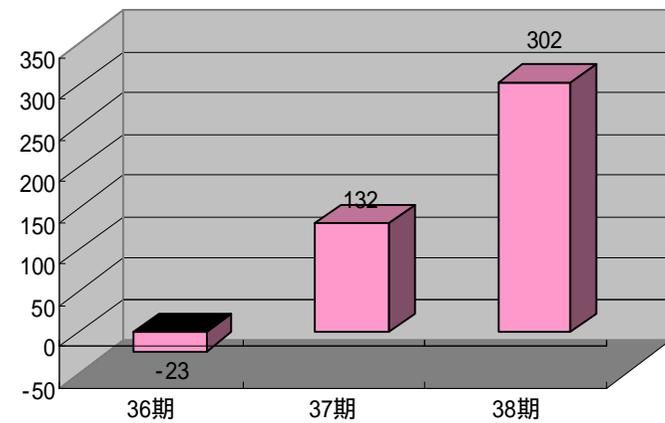
利益の推移



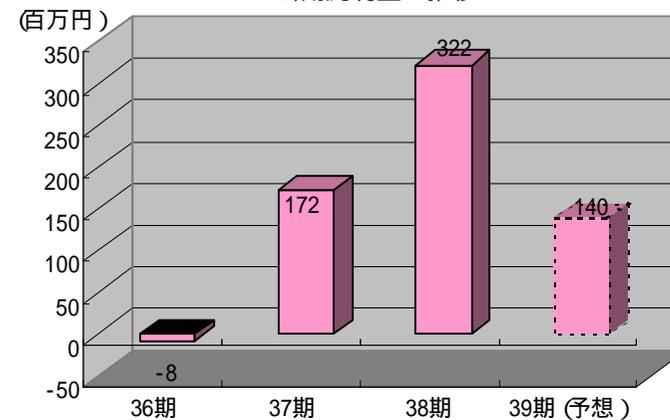
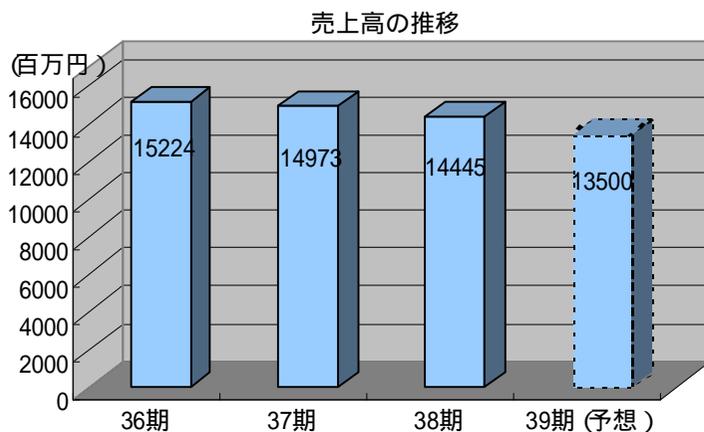
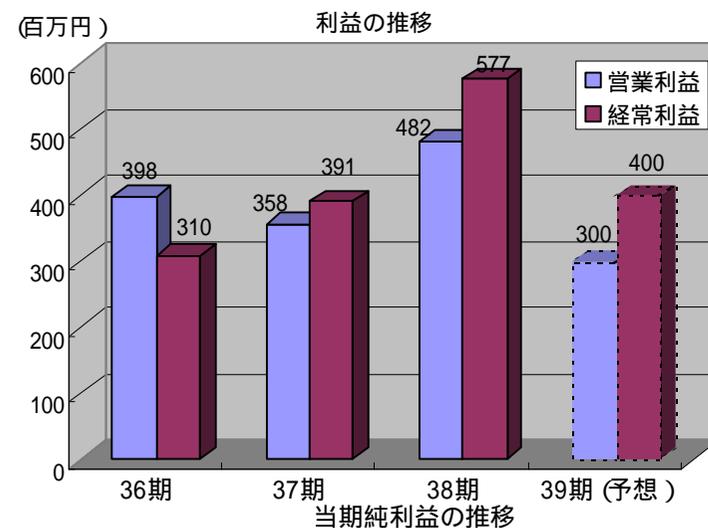
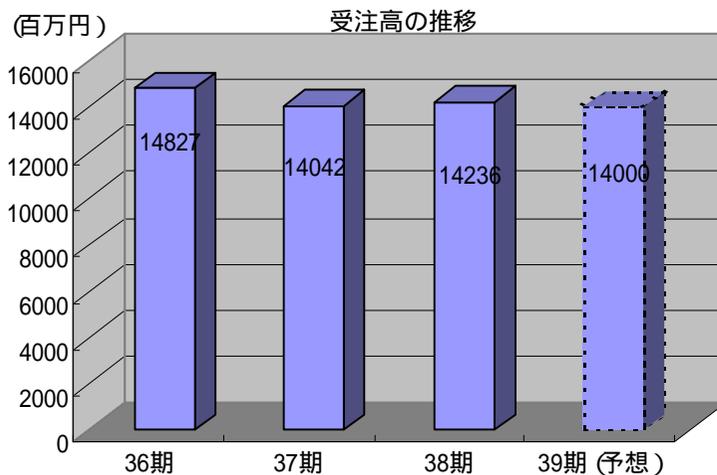
売上高の推移



当期純利益の推移

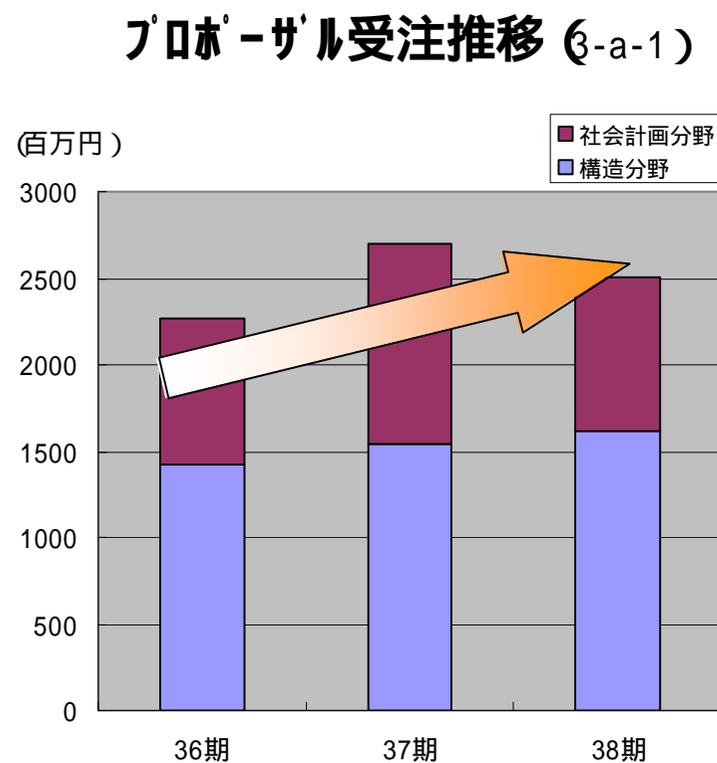
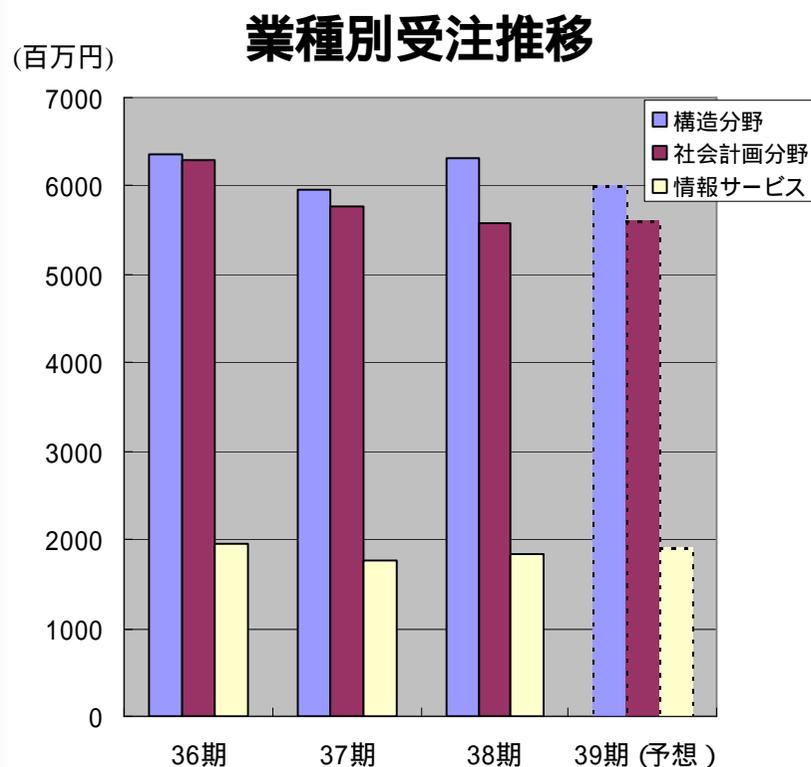


## ② 今後の業績見通し(連結)



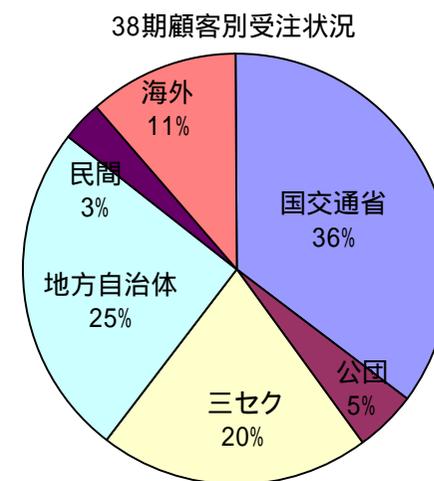
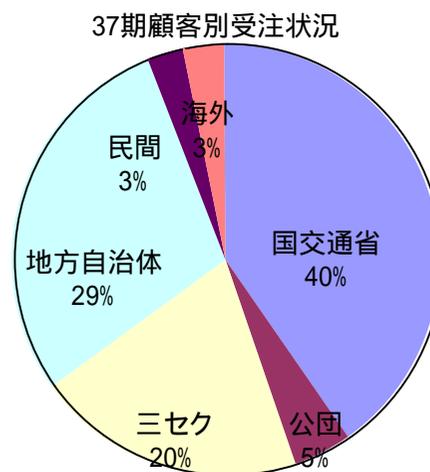
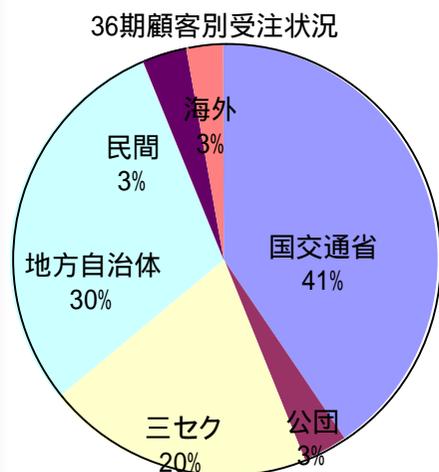
### ③ )分野別受注の推移

・構造計画分野は国内分が減少するも海外が好調であった  
・社会計画系分野は横這い  
・国内受注はプロポーザルによる受注額増加に向けた施策の実施が今後の課題



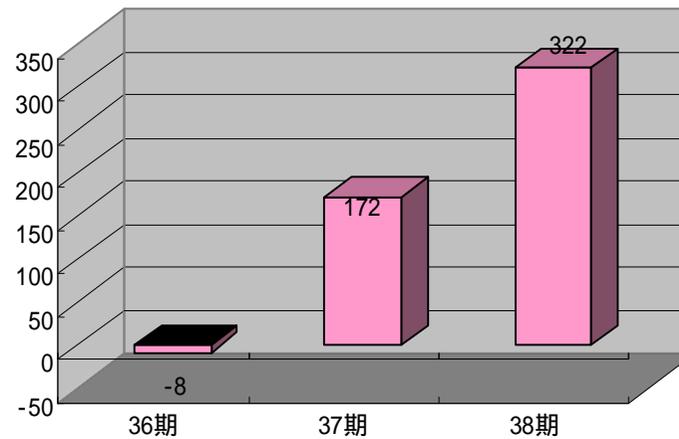
## (4) 顧客別受注状況

・国土交通省及び地方自治体はやや減少  
・海外は大幅増

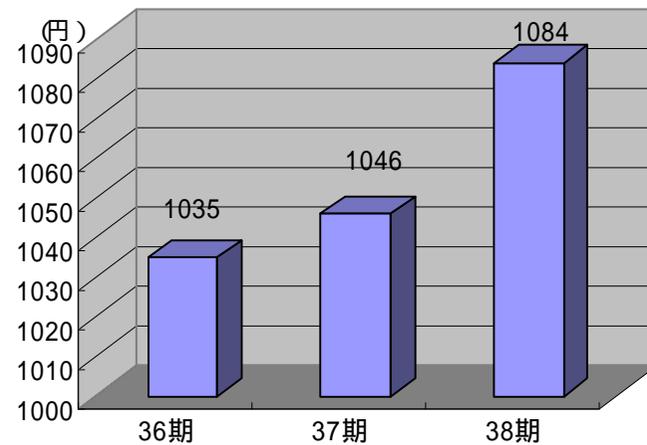


## ⑤ 資産等の概況

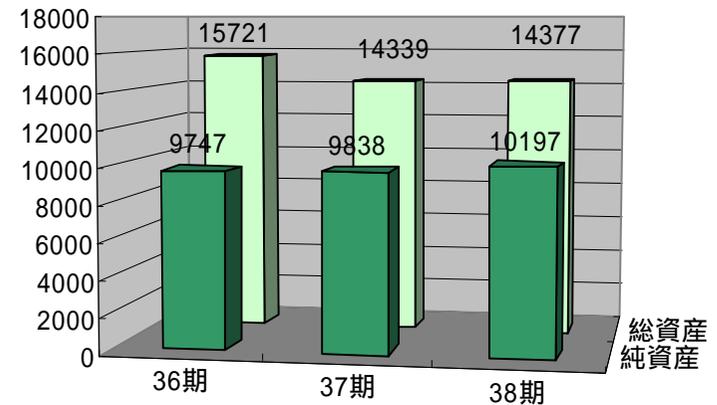
当期純利益の推移



1株当り純資産の推移



(百万円) 総資産・純資産の推移



# 2. 中期経営計画の進捗状況

Change and Challenge	プロフィットイノベーション 事業分野拡大の取り組み	プロセスイノベーション 経営基盤強化の取り組み	プロフェッショナルイノベーション 技術力向上の取り組み	40期に到達すべき主な目標
	a	b	c	
<b>利益創造に関する視点】</b> 適正な利益を創出できる 体質の確立	1 単独で市場競争力のある <b>高収益、高品質</b> を追求する専門事業部門の創設 1-a	1-b 受注から納品まで品質管理、原価管理一体となった <b>適正利益を確保</b> する為のマネジメントシステム構築 1-b		営業利益率 5% (連結) 生産効率 2.3
<b>市場創造に関する視点】</b> 長大ニューブランドの創出	2 公共マネジメント事業の開拓及び新しい市場の開拓 2-a-1 海外市場の受注強化 2-a-2	2-b 顧客価値創造型のソリューション営業活動の強化 2-b		新たに目指す市場 ・マネジメント事業 20億円 新規事業 20億円 海外事業 10億円 (以上連結)
<b>技術創造に関する視点】</b> プロフェッショナルとしての 権威と信頼の獲得	3 広い視野からの要請に応えていける、 <b>高い技術競争力</b> の構築 3-a-1 地域と技術中核の各拠点の役割と責任を明確にし、 <b>顧客満足</b> 向上の仕組みを構築 3-a-2	3-b-1 <b>ミスによるリスク低減</b> の為の品質・コスト管理マネジメントシステムの構築 3-b-1 <b>技術経験の蓄積とコスト体質改善</b> のための専門技術者集団の構築 3-b-2	3-c 常にトップレベルの <b>技術力を保持・習得</b> するための継続教育システムの確立 3-c	プロポーザル特定率30%以上 (現在18%)
<b>人間創造に関する視点】</b> 社員の自律性の確立	4 新しい市場に挑戦する <b>ベンチャー意欲</b> を持った人材の育成 4-a	4-b <b>個人目標と組織目標のリンク</b> を図り、共に成長 4-b	4-c-1 学際・業際・国際の交流ネットワークの中で積極的に活動し、倫理観を持った <b>自律・独立の技術者</b> として成長 4-c-1 資格習得を通して <b>エンジニアとしての自覚、自信</b> の確立 4-c-2	未来を拓く人材の創出 技術士レベル資格保有者 40%

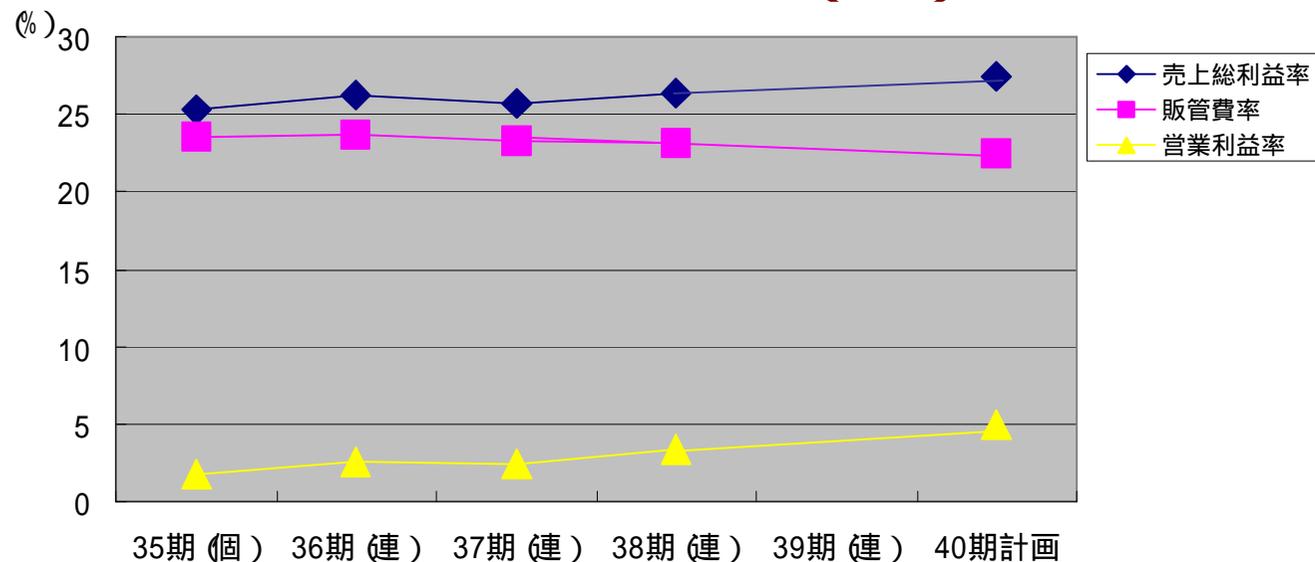
# (1)利益創造

## 1-b 利益及び利益管理精度の向上

<これまでの取り組み>

- ・固定費削減策の実施
- ・変動費削減の取り組みのため、変動費管理システムを導入
- ・構造系事業の品質管理強化のため審査室を設置 (3-1-b)

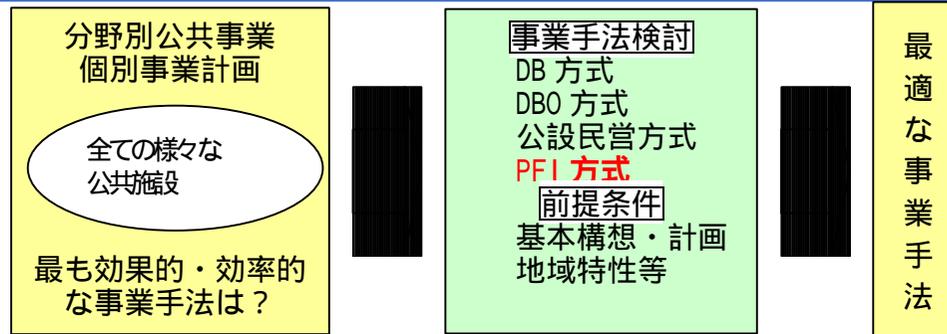
諸指標の推移実績と計画 (連結)



## (2)市場創造に関する視点

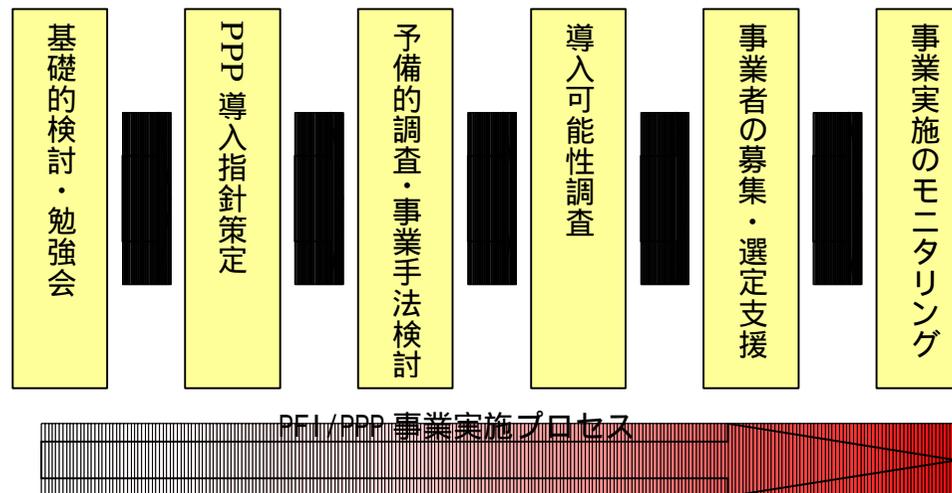
### 2-a-1 公共マネジメント事業の開拓

これからの公共サービスの事業手法は多様化する



提供されるサービスの種類や基本構想・基本計画、地域特性等に応じて様々な手法が考えられます。

コンサルタントが行うべきアドバイザー業務は広範囲にわたります。



技術面はもちろんのこと、財務面、法務面においても的確なアドバイスを提供します。

## 多様な民間活用 (長大の実績)

設計 :Design	施工 :Build	維持管理・運営 :Operate	資金調達 :Finance
設計施工一括発注 : DB (Design Build)			DB+F ・大阪府営住宅
設計施工維持管理運営一括発注 : DBO (Design Build Operate)			DBO+F ・筑波大学 ・長岡市高齢者センター
	施工維持管理運営一括発注 : BO (Build Operate)		BO+F ・千葉県警 (VE提案)

筑波大学生命科学動物資源センター  
(2005/10/4共用開始)



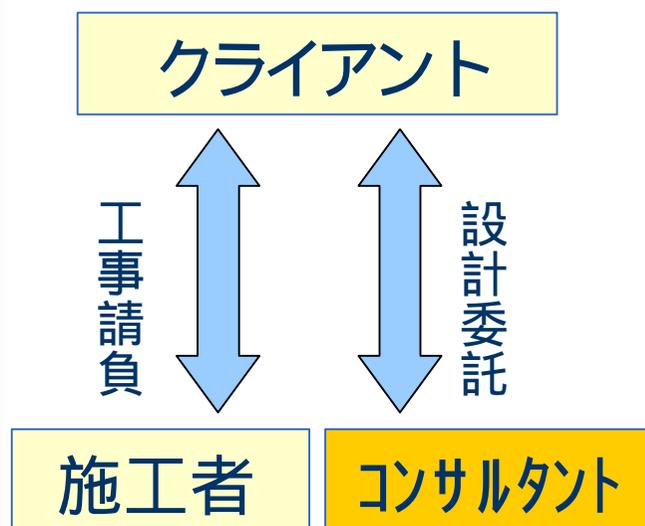
新潟県長岡市高齢者センター「しの」  
(2005/8/12共用開始)



## 2-a-2海外市場の受注強化

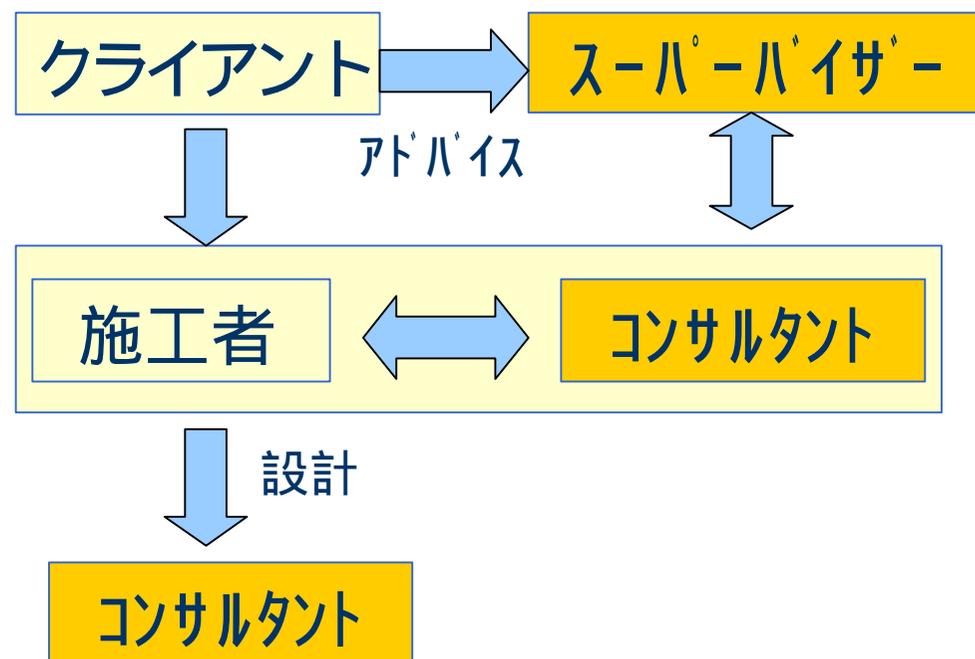
海外コンサルタント業務では高度な技術力と経験が求められている。

### 国内の一般公共事業



設計・施工の分離の原則

### 海外における事業



コンサルタントは単なる設計者としてのみではなく、各種の活躍の場が与えられている

## (3) 技術創造

### 3-a-1 高度な技術力によるアセットマネジメント事業の拡大

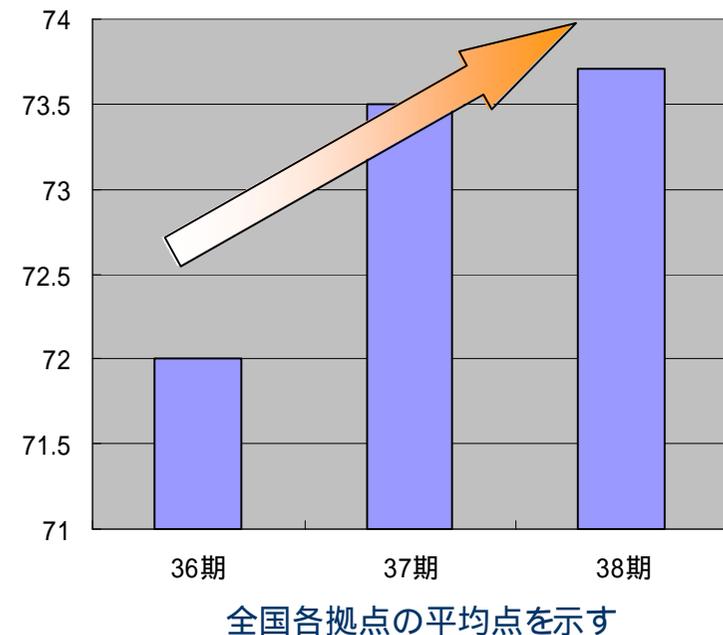
高い技術力により様々な分野で社会資本ストックをマネジメントします

#### 長大橋梁への耐震対策



横浜ベイブリッジ

#### テクリスによる技術力の評価



## 3-a-2 顧客評価向上の取り組み

< 信頼される品質 >

・2005年度グッドデザイン賞受賞 (白川橋と大牧トンネル)

土木学会デザイン賞2004」も同時受賞

・2005年度土木学会田中賞 (謙信公大橋、富士川橋)

・2005年度 (社)全日本建設技術協会「全建賞」2事業受賞



白川橋と大牧トンネル



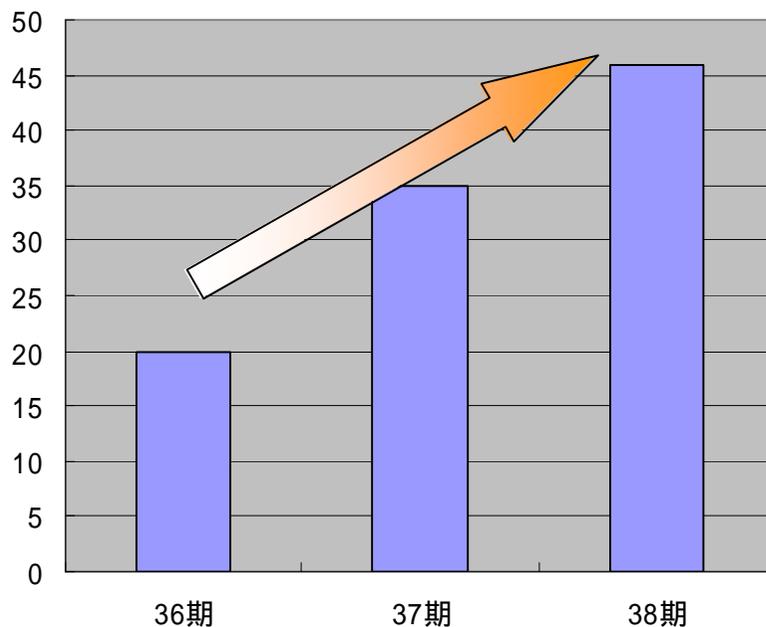
謙信公大橋

## (4)人間創造

### 4-c-1 プロフェッショナルとしての技術者育成

学際、業際、国際の交流ネットワークへの積極的な活動  
倫理観を持った自律、独立の技術者を育成

(論文数) 学会等への論文発表数の推移



主な発表先一覧

	36期	37期	38期
発表論文数	20件	35件	46件
国際論文数	2件	2件	8件
主な発表先	<ul style="list-style-type: none"><li>・土木学会</li><li>・土木計画学会</li><li>・日本音響学会</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・土木学会</li><li>・日本コンクリート学会</li><li>・日本音響学会</li><li>・中日工程技术検討会</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・土木学会</li><li>・日本コンクリート学会</li><li>・日本音響学会</li><li>・環境アセスメント学会</li><li>・大気環境学会</li><li>・日本造園学会</li><li>・中日工程技术検討会</li><li>・韓国土木学会</li><li>・韓国鋼構造学会</li><li>・ITS世界会議</li><li>・APCWE-6国際会議</li></ul>

## 4-c-2資格取得を通して自覚・自信を確立する

### ・目標の上方修正

#### 技術士等の資格者数の推移 (人)

	36期	37期	38期
技術者数	511	481	466
技術士数	222	221	231
技術士数の割合	43%	46%	50%

・中期経営計画の40期に技術士レベル資格保有者40%以上  
ほぼ達成し60%以上を目指す。